

須坂市教育委員会 5月定例会 会議録

1 日 時 令和2年5月28日（木）午後1時30分～3時35分

2 場 所 消防本部3階大会議室

3 出席した委員

教育長	小林 雅彦
教育長職務代理者	神戸 要子
教育委員	土屋 保男
教育委員	二ノ宮邦彦
教育委員	水上 智恵

4 説明のため出席した職員

教育次長	関 政雄
学校教育課長	清水 秀一
子ども課長	新井 修一
人権同和教育課長	牧 俊彦
学校給食センター所長	北堀 智
文化スポーツ課長	田中 賢一
生涯学習推進課長	山岸 一延
主任指導主事	後藤 昭彦
指導主事	宮崎 健
指導主事	北村 雅

5 事務局出席職員

庶務係長	中村 健司
庶務係主査	森井 徳一

6 本日の会議に付した事項

(1) 学校等の状況報告について

(2) 議 題

議案第19号 県教育委員会及び市教育委員会相互の連絡調整について

議案第20号 須坂市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

議案第21号 須坂市社会教育委員の委嘱について

議案第 22 号 市立須坂図書館規則の一部改正について
議案第 23 号 市立須坂図書館協議会委員の委嘱について

(3) 協 議

なし

(4) 一般行政報告

- ①教育長出席行事の報告について
- ②行事共催等承認の報告について
- ③裁判事案について
- ④新型コロナウイルス感染症対策について
 - ・学校等の対応
 - ・市立須坂図書館における新型コロナウイルス感染拡大防止の対応
 - ・須坂市生涯学習センター及び地域公民館の夜間・休日の臨時休館
- ⑤6月補正予算（案）について

(5) その他

- ①教育委員会行事予定について
- ②須坂市教育委員会主催・共催大会等への出席について
- ③その他

小林教育長が開会を宣した。

教育長より状況説明

- ・夏休みを短くして直接向き合える時間を確保しようとしている。
- ・水泳の授業は実施する。7月からできればと考えている。

1 学校などの状況報告について

教育長が説明を求めた。

後藤主任指導主事が全体について、宮崎指導主事が英語の動画配信について、北村指導主事が学力向上と家庭学習について説明した。

神戸職務代理者から「教員の勤務途中の交通事故は通勤ルートか」との質問があり「通勤ルートです」との回答があった。

教育長から「家庭での DV 事例が出てきたが、学校が休業のために情報が入ってこなくなっている。ご飯を食べさせてもらえないような厳しい場面にさらされている子もいる。」との指摘があり、「家庭児童相談員が間に入って細かに見ていく。警告や見守りをしている状況」との回答があった。

教育長から「英語の動画は学校から反応があったか？」との質問があり、「先生から授業に役立っているとの声を貰った。」との答弁があった。

水上委員から「タブレットは全員に配備されるのか」との質問があり、「全員分です。年度中には何とか配備したい。」との答弁があった。

2 議題

教育長からの求めで、議案第 19 号から第 23 号まで一括して、担当課長が説明した。それぞれ特に意見・質問無く、承認された。

須坂市奨学生選考会委員の委嘱について

3 協議事項

なし

4 一般行政報告

(1) 教育長出席行事の報告について

教育長が主だった出席行事について説明した。

・ 5月1日、8日、14日の公立保育園巡回について

→学校教育にない新鮮さがいつもある。園によって差があることが見えてきた。やま保育の良さが徐々に伝わってきている。発信力についてはまだ園によって差がある。

→コロナ禍で子どもたちが持っている切ない気持ちを学校は見逃してはいけないと思う。教師の最後の仕事は、子どもたちのそばにいて一緒に泣いてあげたり、喜んであげたりする、同歩者というところを忘れちゃいけないと校長先生や園長に話をしている。

・ 校長との懇談から

→休業が終わって、子どもたちも落ち着いて生活できているという話を聞いている。

→先生たちに言いたいことは、今までよりももっと上質な授業をしようじゃないかという事。分からないっていう子を作らない授業をしなくてはならない。

(2) 行事共催等の報告について

小林教育長が説明を求め、清水学校教育課長が説明した。

・ 後援事業が1件。

(3) 裁判事案について

小林教育長が説明を求め、清水学校教育課長が説明した。

(4) 新型コロナウイルス感染症対策について

小林教育長が説明を求めた。

学校対応について清水学校教育課長が説明した。

図書館について田中文化スポーツ課長が説明した。

- ・6月2日以降、平日は夜7時までとし、市民以外も須高・若穂まで広める予定。

地域公民館について山岸生涯学習推進課長が説明した。

- ・6月1日からは通常の土日夜間も開く予定。

二ノ宮委員：5月25日に大正大学の浦崎太郎先生がまとめた資料を配布した。主体的・対話的な学びをどうすればいいかという議論をまとめたもの。元通りにはならないという事を前提にしなければならない。

北村指導主事：その子に合った学びの環境というのは大事だと思う。

宮崎指導主事：主体的・対話的な学びに変える、いいきっかけの時期にあるのではないかと思う。

後藤主任指導主事：新しい学習指導要領が求めているものが凝縮されていると思う。新しい生活様式の中で、対面的な学習ができない、近くで実験ができないという中で、講義中心の授業に変わってきている。でも、そうじゃないんだという工夫が先生方の中から出て来ればいいなと考えている。例えば分散登校で人数が減っているので、理科の実験も二人一組で行えてとてもいいと聞いている。

教育長：平成10年にゆとりの時間が大事という事で、総合的な学習の時間が生まれた。総合的な学習の時間で、子どもたちの創造的な学びを生み出していこうとした。2年後に、国際学力調査であるPISA調査の結果が悪く、方針転換した。

(5) 6月補正予算（案）について

小林教育長が説明を求め、各課長が説明をした。

4 その他

(1) 教育委員会行事予定について

小林教育長が説明を求め、各課長等が説明した。

- ・次回定例教育委員会は、6月19日（金）午後2時から人権交流センター2階会議室で開催と決定した。

(2) 主催共催大会等への出席について

小林教育長が説明を求め、清水学校教育課長が説明した。

(3) その他

なし。

小林教育長が閉会を宣した。